

伊賀市 事務事業評価シート

施設の建設

事業名	143	地区市民センター整備事業	会計	01	一般会計
基本施策	60	市内各地域の特性を活かした分権型のまちをつくる	款	02	総務費
担当部課名	生活環境部市民生活課		項	01	総務管理費
作成者氏名	坂口孝一	連絡先	目	10	地区市民センター費
			細目	101	地区市民センター等維持管理経費
			細々目	02	地区市民センター整備事業

事業の計画・内容

建設目的 各地区住民	建設内容	1 建設用地	
		2 建設面積(延床面積)	
		3 規模・構造	
		4 総事業費(千円)	

投入資源

投入人員	正規職員 (人)	H17	H18(予算)	H19(予算)
		0.5	0.5	0.5
支出内訳(千円)	人件費合計(A)	3,600	3,600	3,600
	事業費(B)	4,287	4,258	4,260
	委託料	3,530	3,530	3,530
	修繕料	757	728	730
	その他			
合計(A+B)		7,887	7,858	7,860
財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財			
	一般財源	7,887	7,858	7,860
上記 ~ に関する特記事項 維持管理経費のみで作成、建設事業は別途新規シート作成				

運営体制の予定

1 運営主体	直営	指定管理	民間委託
2 配置予定人員	(委託先:)		
3 年間運営費			
4 市内の主な類似施設			

事業年度

開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度
------	----	----	------	----	----

進捗状況

区分	年度				
	H17	H18	H19	H20	H21
進捗率					

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	目標	
		平成	年度
利用者延べ人数	利用満足度などを指標とするべきであるが、把握が困難なため本指標を採用	H17 140,283人 H18 140,300人 H19 140,350人	
利用回数	利用満足度などを指標とするべきであるが、把握が困難なため本指標を採用	H17 11,232人 H18 11,300人 H19 11,350人	

事業開始時からの状況変化等

上野地域内の地区市民センターの老朽化が進んでおり、修繕箇所は年々増加し、建て替えの時期がきている施設もある。住民自治の拠点として今後も活用していくことから、統廃合後の学校施設の利用や改築などの地区市民センター整備計画が必要である。

評価	必要性	4	行政と地域をつなぎ、住民自治協議会の拠点として必要不可欠なものであり、計画的な整備が必要である。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	4		
	効率性	3		